

第115回医師国家試験 予想講座

出題予想の仕方

このページでは第115回医師国家試験に向けて出題予想をしていきますが、予想問題をただ知るのではなく、自分で予想できるようになることが大切です。より効率よく勉強することができます。

予想の仕方として、世間で話題になったことや医師国家試験出題基準から考える方法もありますが、出題される数は少ないと考えられコスパが悪いです。それより直近の過去問を見て、過去にはなかったワードがないか確認するのが良いです。問題文中や誤答選択肢にあったワードが正解選択肢になったりします。

以上を踏まえた上で直近の過去問から4つ予想してみたいと思います。

TO NEXT

今回は紙面の都合上4問のみ紹介します。他にも色々な予想問題が考えられ、回数別医師国家試験問題解説やQBオンライン (<https://qb.medilink-study.com/#/Predict>) にTO NEXTというタイトルで掲載してあります。ぜひ参考にしてみてください。

第 115 回医師国家試験に出る問題はこれだ!!

1. 後天性血友病の治療

後天性血友病は過去に診断と検査が問われました（109I56、114A21）。次は治療が問われる可能性があります。治療の基本は**副腎皮質ステロイド**で、効果が不十分な場合は**シクロホスファミド**の併用を検討します。緊急で止血が必要な場合は**プロトロンビン複合体製剤（APCC）**か**凝固第Ⅶ因子製剤（FⅦ）**を使用します。インヒビターが存在するため、第Ⅷ、Ⅸ因子製剤は使用しません。

2. カンピロバクターの Gram 染色：Gull Wing

便は常在菌の割合が多く、一般にGram染色の有用性は低いです。しかし、**カンピロバクター（Campylobacter jejuni）**は**Gull Wing**と呼ばれる特徴的な所見がみられ、Gram染色が有用です。*C. jejuni*は細長いらせん状を呈しており、翼を広げたカモメのように見えることに由来しています。便のGram染色が出題された場合、*C. jejuni*である可能性があります。一度Gull Wingの画像を確認しておくといいです。

3. 乳児・小児の心肺蘇生（成人との違い）

乳児・小児の心肺蘇生は成人との違いが出題されます。脈拍は、乳児は**上腕動脈**、小児は**頸動脈**か**大腿動脈**で確認します（成人は頸動脈）。胸骨圧迫と人工呼吸は救助者が1人の場合は30：2、**2人の場合は15：2**で行います（成人では2人で行う場合も30：2）。胸骨圧迫のペースは100～120回/分で、深さは**胸の厚さの1/3**です（成人は5～6cm）。AEDは就学児では成人用パッドを、未就学児では小児用パッドを使用します。小児用がない場合は成人用で代用できます。静脈路の確保が困難な場合には**骨髄路**を選択します（成人でも使用します）。

4. JAK 阻害薬の適応

JAKとはJanus Kinaseの略で細胞内に存在し、サイトカイン（IL、IFNなど）が細胞膜受容体に結合すると活性化され、その後の情報伝達に関与しています。JAK阻害薬はJAKの作用を阻害することで、サイトカインによる炎症を抑えます。適応は**骨髄線維症、真性多血症、関節リウマチ、潰瘍性大腸炎**です。

以上を参考にご自身で過去問を解くとかなり力がつくはずですよ。